

大崎市 ひなげしケアプランセンター

デイサービスをおこなっている大崎市のひなげしケアプランセンター吉村様に伺いました。

今回、患者さんの加入数が大幅に増えた経緯をお伺いしたところ大崎市民病院との連携を視野に入れ、大崎市民病院への通院・入院歴がある方を対象に加入をお勧めしたそうです。

要介護者のご家族への説明の際にも、診療情報を共有してもらえることで、付き添いの負担(都度の説明など)が減る気がすると、好意的なご意見も頂けました。



大崎市民病院の稼働を前に、患者さんの登録を進めて頂いておりますが、早期の稼働、また、情報を出力する施設が更に増えれば良いというご期待も伺いました。

仙台市 国立病院機構 仙台医療センター



国立病院機構 仙台医療センター脳神経外科 井上敬先生に伺いました。

「外来の患者さん全員に『県内のネットワークが始まり、多くの病院がつながったことで、検査のデータや受診歴、処方内容が把握できるようになりました。ただし、患者さんのデータなので患者さんの申し込み、同意が必要です。よろしくお願いします。』と、1~2分程度で簡単に説明して、患者さん用パンフレット・加入申込書を手渡しています。

先日、塩釜市の坂総合病院と情報共有出来た事例があり、その症例では、処方内容や、坂病院から他病院への紹介状なども見ることができて、役に立つなあと実感できました。」

好印象を示される方が90%以上とのことですが、その一方、申込書を渡しても、投函しない方もおり、年一回しか外来に来ない方だとそれっきりになってしまうのが問題とのことでした。いろいろな先生にもご協力いただければ、加入患者さんが増えて情報共有の有用性を実感する機会が増えるのではないかと、とのことでした。また、リストに載っている病院からのデータバックアップが進むことも大切だろうとのこと意見も頂きました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



MMWIN

発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-0021 仙台市青葉区中央 3-10-19 仙台 KY ビル 7 階 (一時移転先) <http://mmwin.or.jp>
サポートセンター TEL: 022-399-6880 サポートセンター E-mail: support@mmwin.or.jp
事務局 TEL: 022-395-6312 FAX: 022-395-6313 E-mail: office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。

©2015 MMWIN



MMWIN 参加施設数 /

465 施設
となりました! ※7月末現在

MMWIN に参加することのメリット

MMWIN 参加施設数が 465 施設 (7月末現在) となりました。参加施設の皆さまに、改めて、MMWIN に参加することのメリットをお知らせいたします。今後とも MMWIN 利活用のほどよろしくお願い致します。

災害に強い自院の診療データのバックアップができます

- 病院** SS-MIX2 への全件アップローダを構築した場合
- 薬局** N-SIPS からのアップローダを構築した場合
- 診療所** 電子カルテに SS-MIX2 アップローダがある場合
- 介護** 電子介護システム+SS-MIX2 全件アップローダの場合

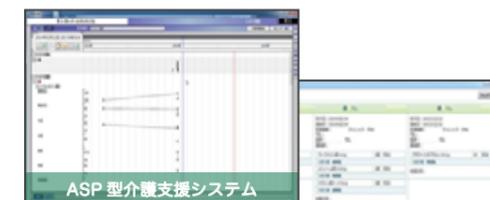
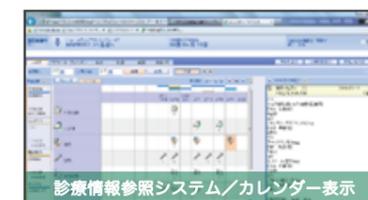
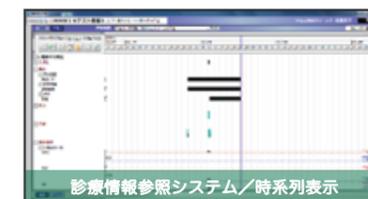
- SS-MIX2 標準化バックアップは電カルとのバックアップとは異なり災害に強い (病院・診療所・介護施設)
- 電カルを使用していない施設でも紙データの PDF 化などをアップロード可能 (病院・診療所・介護施設)
- 標準化された介護記録を簡単に作成できる (介護施設)

他の参加施設のバックアップデータを参照・情報共有できます

- 長い病歴を繰り返し聴取する手間が軽減
- メモ機能で書類の PDF 共有、メール機能で気軽な連絡
- 電カル使用の有無を問わず MMWIN 参照端末があれば可
- 患者が通院する参加施設の病歴、検査、処方などを参照
- 紹介状の簡略化等、紹介・逆紹介する労力を軽減可能
⇒他施設が紹介しやすくなる

- 薬局**
- 病名等を正確に把握できるので、より良い服薬指導ができる
- 重複投与や、禁忌薬の処方を防止できる
- メール機能で医師への照会等、気軽な連絡が可能

- 介護** **訪看**
- 患者が通院する参加施設の診療情報の一部を参照
- かかりつけ医の把握も可能、急変時のスムーズな対応
- 病院等で診療を要する場合、日常生活情報が伝えやすい
- 標準化された看護情報を共有できる (訪看ステーション)



患者さんからみたメリット

- 長い病歴を繰り返し説明する手間が軽減
- かかりつけ診療所などと密接に情報共有していることに対する安心感 (病院)
- 基幹病院と密接に情報共有していることに対する安心感 ⇒ かかりつけとして選択しやすくなる (診療所)
- 病院・診療所などと密接に情報共有していることに対する安心感 (薬局・介護・訪看ステーション)

その他メリット

- 疾患別地域連携バスの利用 (看護連絡票含む) ・遠隔カンファレンスでの勉強会、会議 ・画像共有 (予定)

トピックス

MMWIN の旬な話題をお届けします。

東北大学病院と石巻市立牡鹿病院で遠隔カンファレンスシステムを実施しました

東北大学病院 中山雅晴先生と、石巻市立牡鹿病院 井上国彦院長のご協力のもと、参照端末画面の共有、CR(レントゲン・CT画像)の共有、心臓カテーテル挿入動画の共有を行いました。造影剤注入等の動画もクリアに表示され、画像の劣化も無く共有できることを確認して頂きました。大学などからの研修医の先生方へも、遠隔でリアルタイムの相談・アドバイスが可能になるのではというご意見も頂きました。



今後も定期開催を予定しておりますが、今回は牡鹿病院の実際の患者さんを、大学病院の各診療科の先生に紹介して、紹介前の顔合わせや(遠隔での診察の模擬)を実施していくことになりました。事前に顔合わせを行うことで、簡単な問診が可能になり、更には顔が見えることで患者さんの不安も緩和されるのではという試みです。



加入申込書送付の際、もう一度ご確認ください

患者さんの加入申込書の記入漏れが多くなっております。よくある事例は、旧式の申込書を使用している、ヨミガナやローカルID、裏面の記入漏れなどです。封をされる前に、お手数ですが不備がないかもう一度ご確認ください。ご協力をよろしくお願い致します。

訪問記録

ユーザーズミーティングや施設訪問の記録です。
※全ての施設ではなく、抜粋して掲載しています

6/23 本吉病院様 ……MMWIN の現状と運用について説明を行いました。病院職員の方を中心に 30 名程参加してくださいました。

石巻赤十字病院様 ……スマイルネット運用説明会を行いました。(石巻日赤 連携課 3 名・ロイヤル病院 15 名) 説明会終了後、ロイヤル病院 高橋事務長と石巻日赤 連携課 佐々木課長との間で、早期に実患者データを用いてテスト運用を始めましょう。と前向きな発言をいただきました。



6/30 坂病院様 ……参照システムの操作説明会を行いました。

7/6 こども病院様 ……院内説明会を行いました。

7/9 がんセンター様 ……MMWIN の仕組みについて説明、デモを行いました。

7/13 広南病院様 ……文書連携システムの構築、動作確認と操作レクチャーを行いました。

※先月号の掲載内容に誤りがありましたので、右記のとおり訂正いたします。→【誤】鶴ヶ谷クリニック様 【正】リーフ鶴ヶ谷様

稼働状況

データで見る MMWIN の稼働状況です。

データ推移

		病院	診療所	保険薬局	介護福祉施設	合計
バックアップ データ患者数 (単位:人)	7/10	1,846,498	79,033	534,804	9,353	2,469,688
	7/17	1,847,609	82,217	540,314	10,061	2,480,201
	7/24	1,848,701	83,435	545,556	10,066	2,487,758
紐づけ患者数 (単位:人)	7/10	3,772	1,274	290	117	5,453
	7/17	3,884	1,290	296	117	5,587
	7/24	4,026	1,294	300	117	5,737
接続確認済施設数		66	118	176	103	463
バックアップ稼働施設数		16	52	175	38	281
稼働施設割合		24%	44%	99%	37%	61%

NTT東日本東北病院、栗原中央病院、みやぎ県南中核病院3病院のアップローダが稼働しました。7月10日(金)18時時点で3病院あわせ、延べ45万6千人の患者さん情報がデータセンターにバックアップされました。

機能紹介

MMWIN システムの機能をご紹介します。
ぜひお役立てください!

他の施設で MMWIN に加入された患者さんが、皆様の施設に来院された際、MMWIN 健康共通IDを、自施設のローカルID(カルテ番号など)に『紐付け』する必要があります。紐付けすることにより、自施設での診療・調剤・介護などの情報と他施設での情報を並べて見ることができます。施設の皆様には、患者さんの加入促進と紐づけ操作を引き続き実施頂き、患者さん情報の利活用をお願いいたします。

